

経済

県内観光地の取り組みをレポート

くま経プレス

「食」をテーマに魅力増す県内観光地

県内観光地の多くで「食」をテーマにした取り組みが行われています。「地産地消」をキーワードに、地域の食材や料理などを通してそれぞれの魅力をアピールしながら町づくりを行う各地の動きをレポートします。

山鹿市 熊本県の味「馬肉」のカレーが人気



山鹿市では健康に良いとされる馬肉と山鹿の健康祈願の象徴「葉師堂」をかけた「山鹿葉師馬カレー」を展開しています。06年1月から販売を開始し、同年6月15日から7月30日まで市内6店舗でスタンプラリーを開催しました。企画のきっかけは05年に横浜で開催された、全国5都市がご当地カレーを紹介した第1回「リサミット」がきっかけで、レストランプロデューサーの河崎妙子さんを招き、地域の飲食店などと協力して開発を行いました。多くが福岡をはじめとした山鹿市外からの観光客とのこと。期間終了後も馬カレーを楽しむことができます。

阿蘇市・内牧商店街

トマトとブルーベリー、イチゴなど地域の食材で、季節イベント



3月まで行われた「ストロベリー一歩の巻」で「MIYUKI」が販売した「いちごのタルト」

阿蘇市の内牧商店街では「Tomacco」とブルーベリーをキーワードにした「ベリークック」を開発し、現在季節イベントとして夏にトマトとブルーベリー、冬にはイチゴを使った企画を20店舗が実施しています。季節ごとに食材などのテーマを設定し、参加店は店頭看板を掲げて創作料理やオリジナル商品をPRします。これまでに「Tomacco」オリジナルの「パフェ」「イチゴゼリー」などのヒット商品が誕生。4月からは赤牛と大豆をテーマにしたイベントを行っています。

「馬肉」の「田舎な祭り」の「シュー」で人気に火がつく 阿蘇市・門前町商店街



阿蘇神社の北側に位置する阿蘇市一の宮の門前町商店街。10年前までは寂れた商店街でしたが、近年「シュー」が人気に火がつき、観光客が訪れます。その人気は、阿蘇神社の北側に位置する阿蘇市一の宮の門前町商店街。10年前までは寂れた商店街でしたが、近年「シュー」が人気に火がつき、観光客が訪れます。その人気は、阿蘇神社の北側に位置する阿蘇市一の宮の門前町商店街。10年前までは寂れた商店街でしたが、近年「シュー」が人気に火がつき、観光客が訪れます。

ちゃんぽんのスタンプラリーで反響 天草下島



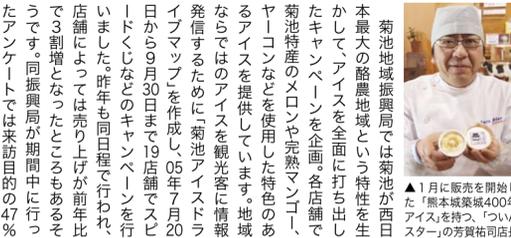
天草下島地域ではちゃんぽんをテーマに島に在する加盟店を巡るスタンプラリー「天草ちゃんぽん」が行われています。スタンプ数に応じてプレゼントがもらえる企画で、03年に始まり、今年からは地域の温泉施設や窯元なども加えて開催しています(3月1日から5月末日まで)。長崎に近いことと地域に根付いていたこと、庶民感覚で注文できるという理由でちゃんぽんをテーマに選びました。同日イベントの仕掛け人・五和町商工会の後藤幸人経営指導員。03年6月にラリーマップが完成し、今年1月には味や接客の向上を目的に公募による覆面調査を実施し、その結果を参考にラリーマップを再編しました。

天草陶磁器と丼のコラボ



天草市本渡地区は、特産品と陶磁器を組み合わせた「井ノ目」を企画。また、天草市本渡地区は、特産品と陶磁器を組み合わせた「井ノ目」を企画。また、天草市本渡地区は、特産品と陶磁器を組み合わせた「井ノ目」を企画。

アイス西日本一の酪農地帯をPR 菊池地域



菊池地域振興局では菊池が西日本最大の酪農地帯という特性を生かして、アイスを中心に打ち出したキャンペーンを展開しています。各店舗で菊池産のメロンや完熟マンゴー、ヤコンなどを使用した特色のあるアイスを提供しています。地域ならではのアイスを観光客に情報発信するために「菊池アイスランド」を9月30日まで19店舗で実施。11月1日から30日まで19店舗で実施。11月1日から30日まで19店舗で実施。

経済

話題のニュースをカメラレポート

くま経プレス



自然風景の豊かな南阿蘇をのびのびと旅したい。そんな思いを叶えるべく、阿蘇高森町の南阿蘇鉄道は、観光トロッコ列車をけん引する新型機関車2両を導入、3月24日から運行を開始しました。新型機関車2両は、1両4200万円、全額を日本まじり協会の助成金で賄っています。国鉄時代から使用してきた旧型の約3倍の力を持ち、3面のトロッコ客車(44人乗り)をけん引することが可能で、リニアール自動ドアを導入し、雨天時用のポリカーボネート製の簡易窓と扇風機を設置。座席も3人掛けから2人掛けになり、ゆったり。別に客車1両も新造中で、補修・新造費の合計は3550万円。同社の津留恒一社長は「06年度は約3万2千人のお客さまが利用しました。ピーク時には満席となることも多いため、今年大型連休には新造中の客車を加えた3両で運行したいですね。トロッコ列車は11月30日まで土日祝日運行ですが、春・夏休み、大型連休は毎日運行しています。」



熊本最古の貸ビル、今なお現役 早野ビル1924(大正13)年

目新しい、ハイカラといえます。1922年2店舗、7社のテナシビルが完成。現在、1階に2店舗、2階に2店舗、3階に17室の貸しフロアが、融合のビルであるが、ブティックやデザイン事務所など、96年(平成8)年12月、文部省の登録有形文化財に指定された。4階、塔屋の窓周りに施された装飾。ビル外壁の装飾の中で最も細やかな造り。1カ月前に「ポスター」に入居した松岡文典さんは古いビルに入居するの一人。早野ビルは、大正13年に完成した。完成した同年、早野ビルは、大正13年に完成した。完成した同年、早野ビルは、大正13年に完成した。

愛称を「阿蘇くまもと空港」に！ 観望ビルから「阿蘇くまもと空港」へ準備進む

熊本空港の愛称を「阿蘇くまもと空港」にすることを決定。航空会社からは時刻表や機内誌のルートマップ、機内アナウンスの変更などが報告されています。また、阿蘇くまもと空港の看板が有名。阿蘇くまもと空港の看板が有名。阿蘇くまもと空港の看板が有名。

フリーペーパー「くま経プレス」

編集スタッフ募集!

グルメ、ランチ情報、インテリア・収納、健康・美容、子育てなど、あなたの生活視点で取材した記事をフリーペーパー「くま経プレス」に掲載してみませんか。くま経プレス編集部では、編集スタッフを募集します。

■職 種:取材・編集企画など  
■給 与:当社規定により支給  
■面接日:6月7日(木)午後3時から

※面接日程の都合が悪い方は、事前にお申し出ください。振り替え日のご相談をさせていただきます。

お問い合わせは くまもと経済(株)地域経済センター 熊本市紺屋町1-2-2(唐人町通り・ローソン前) TEL.096-359-7777(代表)

年刊本「くまもと企業白書」

データ収集補助スタッフ募集!

地場企業と県内出入先企業約5,000社の会社概要をまとめた「くまもと企業白書」のデータ収集補助をするスタッフを募集します。

■職 種:電話によるデータ収集補助業務、原稿校正、資料発送・管理など  
■給 与:当社規定により支給  
■面接日:6月7日(木)午後2時から

※面接日程の都合が悪い方は、事前にお申し出ください。振り替え日のご相談をさせていただきます。